

京都府の教育

～つながり、創る、京の知恵～

京都府教育委員会では「京都府教育振興プラン」に基づき、歴史と伝統にはぐくまれたふるさと京都が持つ様々な力を活かし、学校や地域の実情に応じた「京都府ならではの教育」を進めています。

取組20 地域社会で子どもたちを包み込む環境の整備

子どものための地域連携事業として、「学校・家庭・地域」が連携し、地域全体で教育に取り組む体制や子どもたちを心豊かで健やかに育てる環境をつくるため「京のまなび教室推進事業」「地域で支える学校教育推進事業」「土曜日の教育支援体制等構築事業」の取組を支援し、社会全体の教育力の向上や地域の活性化を図ります。



取組21 土曜教育の推進

「学校・家庭・地域」が連携し、土曜日を活用した学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などに取り組み、土曜日の教育環境をより豊かなものにしていきます。

取組22 地域の特色を活かした教育



乙訓教育局
京のエシソンプログラム体験学習
島津製作所創業記念館の見学



山城教育局
やましろ未来っ子サイエンスプラン
サイエンスラリー事業
(株)ミツフ製作所でのステンレスの恐竜づくり



南丹教育局
小学生に公共土木工事（京都縦貫道）の大切さを伝える教育と土木のコラボ事業



中丹教育局
由良川元気サミット&中丹府立学校文化祭
日本語の美しさやふるさとについての学習発表
(中丹府立学校とのコラボ開催)



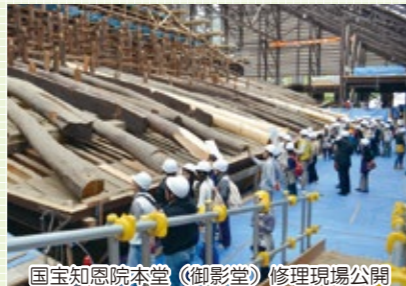
丹後教育局
プラスワンスタディ
管内府立高校生が小学生の学習をサポート

府内各地域の教育課題に対応するため、教育局では、企業や大学、関係機関と連携し、ふるさとの人材、自然、伝統や文化などの地域の特色を活かした取組を展開します。

各教育局では、この他にも様々な取組を行っています。

取組23 京の遺産を未来に継承

京都府が世界に誇る貴重な文化財を適切に保存し活用を進めるため、保存修理に関する助成や指導を行うとともに、修理現場の公開を通じて京の遺産を後世へ伝えます。また、郷土資料館においては、地域の歴史資料等を収集、調査、展示を行うほか、出前授業や体験事業を実施し、郷土学習を推進します。



国宝知恩院本堂（御影堂）修理現場公開



丹後郷土資料館旧永島家住宅での郷土学習

京都府の教育の基本理念を実現するための重点目標と各取組の関係一覧

重点目標	関連する取組	重点目標	関連する取組
1 質の高い学力を育む	⑥⑦⑧⑪⑫	6 学校の教育力の向上を図る	⑥⑦⑩⑬⑱
2 規範意識や人を思いやり尊重する心など、豊かな人間性を育む	①②③④⑤⑭⑮	7 安心・安全で充実した教育の環境を整備する	⑭⑮
3 たくましく健やかな身体を育む	⑨	8 すべての教育の出発点である家庭教育を支援する	⑫
4 一人一人を大切に、個性や能力を最大限に伸ばす	⑩⑪⑬⑯	9 地域社会の力を生かして子どもをはぐくむ環境をつくる	⑤⑭⑮⑲
5 社会の変化に対応し、よりよい社会の構築に貢献できる力を育む	⑥⑯⑲	10 生涯学習社会の実現に向けて学習環境を充実させる	⑲⑳

取組1 府立高校生伝統文化学習

京都にゆかりの深い茶道や華道、古典などを通じた伝統文化の学習をすべての府立高校で実施し、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かな感性や人を思いやる心をはぐくみます。



取組2 伝統文化の継承



11月1日の古典の日を中心に、古典作品や地域に伝わる昔話などの朗読・暗唱大会を開催し、子どもの古典への親しみや関心を高めるとともに、地域の伝統や文化に関する体験活動を通して豊かな人間性をはぐくみます。

取組3 「京のこども 明日へのとびら」



京都ゆかりの文化人や学識経験者など、各分野で活躍する51名の執筆陣による生き方応援メッセージがいっぱいつまった、子どもの「心の教育」のための学習資料集です。

取組4 法やルールに関する教育

法をはじめ、実生活でのルールやきまりについて、自ら考え理解したうえで、態度や行動に移す能力をはぐくむため、各校で実践的な取組を進めます。

取組5 ボランティア活動への支援

府立高校生が通学路の見守り活動や清掃活動、災害被災者への支援など様々なボランティア活動を行い、地域とつながり、地域社会の活性化に貢献する取組を推進します。



取組6 大学との連携



ノーベル賞受賞者を輩出するなど、豊かな研究基盤を持つ大学が数多くある京都の強みを活かし、子どもの知的好奇心をはぐくむ取組を実施します。

- ・大学からの出前授業や、大学での体験授業
- ・大学の研究員等と府立高校生との共同研究（スクールラボ）
- ・「数学グランプリ」「科学グランプリ」の開催や、京都大学と連携し、国際大会等参加に向けた「道場」の開設
- ・教師を目指す大学生を対象とした学校でのインターンシップ「教員養成サポートセミナー」
- ・大学が持つ最新の教育情報を活用した授業力向上のための教員研修

取組7 子どものための京都式少人数教育

小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう教員を配置し、市町(組合)教育委員会が子どもや学校の状況に応じて、少人数教育の手法を選択し実施します。特に小学校1・2年生ではチームティーチングを行うなど、きめ細かな学習面や生活面の指導を推進します。

市町(組合)教育委員会が
少人数授業
チームティーチング
少人数学級
から自由に選択

取組8 子どもの学力充実対策

- ・小学校5年生への個別補充学習により、4年生までの学習内容の定着を図ります。
- ・「中1振り返り集中学習『ふりスタ』」により、小学校段階の学習のつまずきの解消を図ります。
- ・「中2学力アップ集中講座」を土曜日等に行うことにより、基礎・基本の徹底や発展学習に取り組み、全体の学力向上を目指します。
- ・退職教員や地域の方等からなる、「学力向上サポートチーム」を中学校の学力向上拠点校に配置します。
- ・府立高校で退職教員等による「セカンドラーニング教室」を開設し、中学校段階までの学習の不安を解消することで、中退等の減少、希望進路の実現につなげます。

取組9 京の子ども 元気なからだスタンダード

一人一人の子どもの運動や身体動作の獲得状況を把握できる指標「京の子ども元気なからだスタンダード(小学校3・4年生版)」・「スタンダードPLUS+(小学校5・6年生版)」を活用し、子どもの実態に応じた体力向上を図ります。



取組10 「もうすぐ1年生」体験入学



小学校に入学してからの生活をスムーズに送れるように、入学前の子どもに対して体験入学や出前授業、交流学习など、年間を通じた多彩な取組を広げます。

取組11 特別支援教育の充実

- ・「京都府スーパーサポートセンター(SSC)」を拠点に、専門的な研修、研究、教育相談を行い、発達障害を含む障害のある子どもへの、就学前から卒業後に至るまでの一貫した特別支援教育を総合的に推進します。
- ・特別支援学校生徒の希望進路の実現に向け、外部の専門家等を活用した職業教育を行うとともに、生徒の職業適性を把握し卒業後の職場への定着などを支援するコーディネーターを配置します。
- ・府立高校では、聴覚に障害のある生徒に対して、学習補助システムを活用した授業を試行します。

取組12 家庭教育の支援

子育て・親育ちに役立つ学習資料の作成や、専門家による相談体制の充実を図るなど、家庭の教育力の一層の向上を目指します。



取組13 いじめ、少年非行防止対策の推進

- ・「いじめ未然防止・早期解消支援チーム」を設置し、学校のいじめ防止対策のチェックや、早期解消に向けた支援を行います。
- ・PTAと連携して、正しいネット活用の知識やルールの普及についての資料を作成し、保護者等への啓発を行います。
- ・「スクールカウンセラー」、「まなび・生活アドバイザー」等の学校への配置や、「24時間電話相談窓口」を設置し、いじめや非行などの早期発見や相談体制を充実します。
- ・不登校の子どもへの対策として、相談室等で相談・学習支援を行うための「心の居場所サポーター」の配置やフリースクールとの連携を図ります。
- ・児童・生徒の非行や犯罪被害の未然防止、非行からの立ち直り等の支援を推進するため、警察や関係機関との連携を強化します。

取組14 地域ぐるみの学校安全体制の整備

- ・警察官OBや防犯の専門家等からなる「スクールガード・リーダー」の学校巡回指導や、学校安全ボランティアによる登下校時パトロール等、地域社会全体で子どもたちを見守ります。
- ・自転車の交通事故防止のための交通安全教育について、視聴覚教材を活用した教育手法を開発します。
- ・学校安全に関する先進的、効果的な教育手法等を活用した実践事例集を作成します。

取組15 高校生への修学支援

教育の機会均等を図るため、修学資金や就学支援金などにより、きめ細かな学びのセーフティネットを充実します。

取組16 京都フレックス学園構想の推進 ～平成27年4月清明高校開校～

府内初の単位制・昼間2部制の普通科高校として、清明高校が開校しました。基本コンセプトは「学びアンダンテ♪」。様々な学習ニーズのある生徒が、自分のスタイルに合わせて学べる学校です。将来の社会的自立に向け、体験型授業、ICT活用、外部機関との連携講座など多様な学習スタイルを取り入れています。

取組17 夢に応えられる府立高校づくり



生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、時代の変化に対応した教育を実践するため、高校の魅力づくりを進めます。

- ・科学技術分野で活躍できる人材の育成、国際社会に貢献できるリーダーの育成及び社会・経済構造の変化に対応できる人材の育成などを目的とした京都パイオニアネットワーク事業(スーパーサイエンスネットワーク、グローバルネットワーク、スペシャリストネットワーク)の推進
- ・探究活動を通じた確かな学力の育成に向けて、特色ある活動や効果的な取組を京都フロンティア校支援事業にて推進
- ・ICTの活用による、進学予備校のコンテンツを利用した学習指導の実施
- ・職業学科共同の新たな商品ブランドの開発や、「高校生カンパニー」を創業し、企画・生産・販売までを実践
- ・外部人材の活用や関連団体との連携によるキャリア教育の充実
- ・経済団体や国際貢献団体等による講義や高校生による研究論文コンテストの実施

取組18 グローバル人材の育成

グローバル化した社会で活躍できる、語学力やコミュニケーション能力、多様な文化理解などの素養を備えた人材を育成する環境を整備します。

- ・2～6か月の中期間の留学ができる府立高校海外サテライト校の設置に向けた準備
- ・「高校生グローバルチャレンジ500事業」により、友好提携都市である英国エディンバラ市をはじめとした世界各地への府立高校生の短期・長期留学を支援



取組19 現場のニーズに応える教員研修

- ・現場のニーズに応じて教員が学校等で研修を受けられる「出前講座」を実施します。
- ・子どもの学力や生活に直結した様々な課題への理解や特別支援教育、教育相談及びICT活用も視野に入れた教科指導力の向上、保護者や地域とのコミュニケーション能力や社会性の向上など、地元京都の大学や企業の優れたノウハウの活用も含め、様々な研修を実施します。

